

広報

No. 97



昭和56年7月15日

発行・編集 国見町企画課

おもな内容

河川愛護月間.....2～3

収入役に佐野正治さん.....4

あの人この人.....5

—五十嵐藏之助さん—

青少年に明るい家庭を.....6

公民館だより.....10



'81

7月

さあ～夏だ!

—森江野小学校で—

# しい友達

## 月間



### 小河川の実態

「川の汚れ」は、厳しい法的規制や保全対策が重ねられた結果、ひととくらくらべてかみり改善されたものの汚濁の進行は、終止符が打たれたとは思えません。私たちの住む国見町においても同様で小河川や水路などの汚れは以前にくらへ目立っているのが現状です。その小河川の実態をお知らせして、かけがえのない清流を取戻もどしたいと思えます。

私たちの町には二級河川の阿武隈川をはじめとして、牛沢川・滝川・上泉川・吾蔵川の四河川があります。外に小河川として十二河川(新田川・柳沢川・狸石川・矢木沢川・金倉沢川・武土沢川・姥神川・矢野目川・久保田川・清川・竜渡院川・沢田川)総延長二・八キロメートルがあり、それぞれ険しい山あいからの流水のため水量的にもとほしく距離も長くはありません。また、小河川の間も十三・一ヘクタールと少なくそれでも全水田面積(七〇一ヘクタール)の一九%をうろおしています。

### 流域の状況

私たちの町には数多くのため池があり、西根堰掘きく以前には天水にたよった耕作が行われており、とぼしい水をいかに有効に利用するかという先人の偉大な知恵がしのばれます。

近年耕地の集団化・基盤整備事業などが進み、用水の有効利用が推し進められた結果、ため池などが

軽視されがちですが、早天続きの年などのために不断の手入れが重要だと言えます。

河川については地域のみんなで春の堀の清掃(いはらい)などを行ってつねに浄化のために努められていると思いますが、最近になって特に汚れが目立ち昭和初期頃の三寸流れれば生棒(きすい)の水といつて飲まれた水も、かつての面影がみじんも見られなくなつたことは残念なことです。

### とり戻そう清流を

私たちの、住んでる国見町の、河川は、春秋清掃を行っています、きれいでありません。河川の汚濁源をみると、家庭排水、心ない人たちの河川へのごみ捨て等です。

このまま進むと淡水にすむ魚貝類の絶滅は必至となります。

もう一つの汚染源は、各家庭で使われているビニール類などの残がいです。風に飛ばされ堀をうずめ、流れをさまたげ、ひいては、災害にもつながります。

七月一日から三十一日までは、河川愛護月間です。私たち皆さんでもう一度自分たちのまわりを見直し、美しい川をとりもどしましょう。



河川愛護月間  
7月1日~31日

### 『自然の窓』

#### 動いてやまぬ水

のどかな田園風景の中をさらさらと流れる小川、川幅が数百メートルの大川、あわて、かけ下る谷川、ゴ—ゴ—とうなり声をあげて落ちていく滝、水のとる形はさまざまだが長い旅の果ては、いずれ海の宿場につく、この旅行者は独特の魔力と魅力をそなえているように思える。

雨や雪として降った大気中の水分は、一部はそこで蒸発し一部は大地にしみ込むが他は川となって地表を流れる。やがてそれは海に戻る。大洋では表面から蒸発した水は雲となり、ふたたび雨となり雪となつて降るがやがてまた海にもどる。

このように水は地球表面でやむことなく循環し、輪廻をくり返している。日本のように大平洋をとりまく遠山帯などは、地形がけわしく川の長さが短いので、外国の



# 川はやさ 河川愛護

## 川は生きている

ふだんはおとなしいが、いったん酒を飲むと手のつけられない大トラ——という方も中にはいるようですが、河川についても同じようなことが言えます。

川はアルコールこそ飲みませんが、大雨などにより多量の水を飲み込むと、ふだんの姿からは想像もつかない「あばれん坊」へと変身します。川は生きているのです。

ところでわが国は世界でも有数の雨の多い国です。一年間に降る雨の量は千八百ミリと、世界の平均年間降雨量の二・五位を記録しています。しかも、梅雨時や台風のと きなどは、限られた時間に集中的に降るため、短く急な川の多い日本は「洪水大国」といえるくもありません。

例えば、一九四六―七五年の三十年間の洪水被害による死者・行方不明者は、約三万二千人。ちなみに、アメリカ合衆国の同年死者行方不明者は約二千八百人ですから、いかにわが国の洪水被害が大きいものか、おわかりでしょう。家を流し、田畑の作物をだいたにし、ときには人命をも奪い去ってしまう「あばれ川」、川を治めるものは国を治める」の言葉と

うり、昔から人々は、この「あばれ川」退治に、いろいろな工夫と努力を重ねてきました。堤防を作り、護岸を改修し、放水路を整備し……。それでも洪水被害は後を絶ちません。

飲料水など生活用水をはじめ農業用水、工業用水、発電用水として、また人の集う憩いの場として、私たちにさまざまな恵みを与えてくれる川。この川が「あばれ川」にならないように、みんながいつも大事に守ってあげてください。また恐ろしい洪水の被害を少しでもくいとめるために、出水期には十分な注意をお忘れなく。

## 治山 事業のひろがり 治水

一般河川の上流を担当するのが治山・治水の守備範囲です。どんな内容の事業をおこなっているかという点、第一に大雨などによる土砂の流出から集落をまもるために、砂防ダムを作ることです。

私たちの町では、泉田の柳沢地区、鳥取の狼子沢、内容の金有沢、矢木沢、山根・貝田の四ツ穴で行っています。事業費は全額国・県補助で施行されています。

第二に治水としては荒廃した保楽林を改良する事業として、全額



柳沢の砂防ダム

補助で植林から下刈などを行い、りっぱな森林造成を目標とし、水の保水と流水の維持を考慮しています。私たちの町では、柳沢地区一六ヘクタール、石母田の陣場山を中心に一〇ヘクタールが完成しています。今年には内容の新林、泉田の袴腰地区で計六ヘクタールを予定しています。

このように私たちの町では、つねに河川の災害防止や国土の保全と水源のかん養に、幅広く事業を行ってまいります。

事業の要望が所などありましたら町産業課にご相談ください。

話に聞かれるような川幅が何キロメートルというような場面はみられない。

大きな川がひとたび流れ始めると想像以上に大きなエネルギーをもつようになる。川は土砂を押し流し運ぶ作用をもっている。川自身は岩石や地層に流れをさまたげられ、地表は休みなくその姿を変えていく。

このようにして水と地表面は互に作用し合いながら、それぞれもっているその姿や本来もっている力を変化させていく。自然の現象はそうした相互作用によって変化していくのである。

その力は何に原因するのであろうか、地球上にある重力、すなわち、地球とその表面を流れる水の間に作用する万有引力と海面からの高さによって生ずる位置エネルギーによって起ると考えられる。このエネルギーが川となつて流れ水の浸食力、運搬力、推積作用という形に物質したわけである。

地形はこの力をうけて、しだいに平坦になり、限りなく海面に近づき、やがて平衡状態になるわけである。このときは、もはや浸食も運搬も行われなくなる。

自然界の現象はこのようにして平衡にもどろうとする方向に変化し続けるものである。

# 収入役に佐野正治さん(前町議会議員)

## 七月一日から就任



収入役は、去る三月三十一日で奥山忠雄さんが退任して以来、空席となっていました。その後任として佐野正治さん(徳江字北畑28)が七月一日で就任しました。町三役の一角である収入役の職責の重要さにかんがみ、空席を直ちにうずめるべく町長が人選を連

委員長、建設水道常任委員長さらに四十九年六月から五十四年四月まで副議長の要職にあり、あわせて議会選出の農業委員も三期九年間を勤めてこられ、町政事情には明るく、しかも国見町誕生後間もない時期から議会人として一筋に歩んでこられた実績をかわれたの起用といえるでしょう。

今後は町政に対するこれらの豊富な経験と高い見識とを、執行者側へと立場をかえて、収入役の職務である会計事務全般に十分生かされるものと期待されます。

町民の皆様、昨年に続き今年も異常低温に見舞われて何ほどか御心労のこととお察し申し上げます。さて、収入役、去る六月定例議会において収入役就任の同意を得て七月一日からこの大任を仰せ付かりました。もともと私は、浅学非才で経理関係にはズブの素人でその大任を果すことに大きな不安を持つものであります。前の奥山収入役は銀行マンとして知られ、

余に渡り町政審議機関の立場で微力ながら町政進展のために努力をして参りました。これひとえに、町民の皆様様の暖かい御支援と御指導御鞭撻のたまものと心から深く感謝申し上げます。改めて厚く御礼

して別の立場から今までの体験を十分生かし、町勢進展のため懸命の努力を重ねて参りたい所存でございます。

最近の経済情勢は内外ともに危

ばす自然災害に業をにやしつづ、一日も早い天候の回復を願っている昨今であります。

町政にとつても学校、役場庁舎の建設と大きな事業に取り組み、さらに数多くの問題をかかえている現状で、これらの解決または前進が望まれているところで

## 就任にあたって

### 収入役 佐野正治

申し上げます。

豊かな知識と経験をもたれ、多年に渡りその職責に存分な手腕を振られたのは周知のとおりです。その後任としての私は、ひたすら身の引き締まる思いでいっばいです。私は、昭和三十四年町議会議員に初当選して以来六期、二十二年

長い議員活動も今回を機に辞任したわけですが、任期半ばのために皆様様に申し訳なく、後髪を引かれる思いを致すものです。しかしながら、今後は意を新たに

冷害での農作物に与えた影響はこのほか重大で、さらに追い打ちをかけるように積雪の被害等々で皆様方の心労は極限に達しているものと存じます。本年もまた低温で、あらゆる農作物等に影響を及

私にとつてはただ身の打たふるえる思いであり、今までお寄せいただいた御指導、御協力をさらに大きいたまわり、町政発展のため最大の努力を致す覚悟でありますので、なにとぶんよろしくお願いを申し上げます。就任にあたって私の決意とご協力をお願いを申し上げます。

きれいな広告で住みよい街を

八月一日から三十一日まで、違反広告物をなくし、明るく住みよい街をつくるための「屋外広告物をきれいにする運動」が行われます。県内には屋外広告物を表示していけない地域や、街路樹のように表示が禁止されている物件があります。



県では美観風致の維持、危害の防止のため法令の規定に違反している屋外広告物の一掃に努めていますので、ご協力下さるようお願いいたします。

屋外広告物掲出に関するお問合せは保原土木事務所総務課へ  
☎〇二四七五一一二一五

農業散布時の隣接者との協調について

水稲、果樹等の農業散布時に、隣接者に迷惑をかけるような事前には隣接者に連絡をしてから防除をしましょう。特に夏に向い民家の室内への薬液の流入、洗濯物等への付着に充分注意のうえ防除をしてください。

緑の大敵「アメリカシロヒトリ」の自主防除につとめましょう。

### 本田さんが再任

— 監査委員に —



六月二十二日、町議会の同意を得て本田吉助さん（藤田字南29）が監査委員に再任されました。本田さんは昭和四十六年から監査委員を勤め、今回で四期目に入ります。監査委員は、地方自治法で設置され、普通地方公共団体の財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理を監査するもので、いわば町民側からのお目付け役といえるでしょう。

今後とも、本田さんには公平無私なきびしい目を期待したいものです。

### 山長育英財産管理委員を委嘱

町出身者の育英、奨学のために寄付された山長育英財産の管理等を行う委員会の委員に、議会の同意を得て次の方が委嘱されました。議会から菊地政治、八巻正雄、玉手昭市さんの三名（再々）学校長から小坂小の井戸川真志さん（新）なお、任期は二年、総数は十四名。



47

長寿国日本では、満六十歳の平均余命は男十八・五年、女二十二年と極めて高い数値だが、病院の窓口にも並ぶお年寄りの数の多きは日常どこにも見られる風景であり、健康で毎日をご過ごしている方は決して多くない。

薬草研究を続けている五十嵐蔵之助さんは、七十七歳の今日至って健康、若さに満ちあふれている。不断の鍛練こそ至上の宝。弱い身体で文化生活よりも強健で原始生活が本人の生活モットー。「自分の健康が家庭にどう影響するかを考えれば、健康はただわが身一人のことではないはず。健康

の自己管理こそ家族を思いやるやさしさだ」と五十嵐さんは語る。病氣知らずの日頃の健康に気がつかうという人が、五十嵐さんは若いころわきがに悩まされた。注射、薬とあらゆる手を尽したが治らな

い。ある時、中耳炎にかかった馬をドクダミを混ぜた飼料で完治させた農家の事例を見て、「馬が治る。人間の病氣にもこの草は効くはず」とドクダミのせんじ液をしぼり服用、その結果、がんこな持病のわきがが治ってしまったという。それ以来、薬草の効用に興味を持ち研究を始めることになっ

た。

「体の中を流れる血液が汚れているのは万病のもと。その浄化が大切で、薬草の効用はここに

にある。いろんな薬草があるが、身近にあるドクダミはその効用が大きく大量に採取でき、干してせんじるだけなので手軽だ」と人に勧めている。五十嵐さん一家にとってもこのドクダミは一日とも欠かせないものとなっている。

## 薬草研究家 五十嵐 蔵之助さん

「ここまではねえ」と苦笑い。若いころ、結核予防の石油療法が話題になった時、自ら石油を飲んでその効用を試したというエピソードもある。

十年ほど前に糖尿病にかかったことがあったが、これも持ち前の根氣で自ら工夫した食事療法を続け克服した。「内臓は体の根本、これを丈夫にしないことが必要に働かせて鍛えておくことが必要。柔らかいものだけ食べていると弾力がなくなる」と生で食べる野菜も多い。また、胃の活動を活発にする腹たたき法とか、血行をよくするたため入浴法も実践している。法と法とが独特の健康増進法も実践している。新聞、雑誌に薬用の効用い方など投稿を続け、自分で体験した事例だけに読者からの反響も大きい。

「丈夫な人が急になくなるというが、不断から体調に気を配っていればと思う。人生、健康が第一。人事をつくして天命を待つ」とは健康についてもいえる「と結んだ。

もちろん、酒・タバコには若い時から無縁である。「百五十歳まで生きて、ノーベル賞をとますます意気盛んな五十嵐さん、練筆まじめに忙しい毎日である。明治三十七年生まれ

山崎字大坂一 一番地の一



# ●●青少年に明るい家庭を●●

## ＝青少年健全育成県民総ぐるみ運動＝

7月1日～8月31日



### 社会を明るくする運動に寄せて

#### ―交通事故ゼロをめざして―

大枝小学校校長 千葉 喜三

私は、四月に若任して以来教育目標を柱にして、物事を正しく判断して行動し、他人に迷惑をかけない、未来にたくましく生きる実践力のある、しかも思いやりのある立派な青少年の育成のために、職員の方々と一致協力して努力をいたしております。

現在の教育に最も期待されている知徳体の調和のとれた心豊かな人間性を伸ばし、父母の信頼にこたえるために、学校生活において学ぶ喜びを味わわせるとともに、学校生活をより楽しくするために、先生方はもちろん、子どもたちもそれぞれの学年で草花の栽培に励んで情操の陶冶面にも大きく役立っております。

五年生、六年生全員は、菊の一人一鉢栽培に汗を流しています。こうしたことは、学校を明るくすることであり、社会を明るくすることにも密接につながっていくものと信じています。

子どもたちが明るく楽しい思いやりのある学校生活をくまらず、交通事故のない健康で安全な生活を通り、運転手の方々、歩行者の方々、歩行者の方々が安全に心がるために、体育館東側県道沿いに、サルビアとグラジオラスを植え、学校前停留所と校門両側には、交通安全を祈念し、また正しいあいさつのできる子どもにするために、ペコニヤの鉢植えを置いて、子どもたちが毎日花のようを清らかな心で安全な暮らし方を実践して、楽しい学校生活がすすめるように配慮しています。

次代を担う青少年を健全に育成することは国民的な課題です。青少年が心身ともに健やかに成長していくためには、青少年自身が誇りと自覚をもって自らの努力を積みあげていくことを期待しながら、家庭、学校、職場、地域社会など青少年が生活するあらゆる場において青少年の健全育成に配慮してゆく必要があります。

この運動は、この考えに基づき青少年が心身ともに健康な夏をすごせるよう関係機関、団体および県民すべてが積極的に協力しあつて、地域に根ざした「県民総ぐるみ運動」をすすめるものです。運動目標は次の五項目です。

地域や家庭でもこの県民運動の輪をひろげましょう。なお、この運動は、「青少年を非行から守る全国強調月間」(七月)、「社会を明るくする運動」(七月)、「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」(七月二十一日～八月二十日)の運動とあわせて実施しています。

交通安全のため、日夜いろいろとお世話いただいているご当局の方々へ心から感謝を申し上げますとともに、学校教育の中においても今後日々継続して指導してまいりたいと考えております。人間にとって一番大切な生命の教育は、学業指導力すべきであると考えています。ささやかな実践例と所感の一端をのべましたが、今後とも学校教育に對しましてご協力とご支援のほどを切にお願いいたします。

### 運動目標

- 家族みんなで明るい家庭をつくらう。
- 青少年の社会参加をすすめるようろう。
- 明るい社会環境をつくらう。
- 子どもを事故からまもらう。
- 青少年の非行をなくそう。



「花は語らぬ、しかし物事の真実を花は教えてくれる」といわれています。

交通安全のため、日夜いろいろとお世話いただいているご当局の方々へ心から感謝を申し上げますとともに、学校教育の中においても今後日々継続して指導してまいりたいと考えております。人間にとって一番大切な生命の教育は、学業指導力すべきであると考えています。ささやかな実践例と所感の一端をのべましたが、今後とも学校教育に對しましてご協力とご支援のほどを切にお願いいたします。

# 国見の城と館 ③

題字は秦助役

## 石母田西館



石母田西館要図

国見町役場所蔵、石母田村文庫図によって作成  
所在地→石母田西館

西館は現在の石母田字西館(旧字石切場)に位置する、単濠単郭式の平地館である。昭和四十六年東北高速自動車道の敷地となつて、館跡北側の大部分が地下に埋没し、現在は南東のすみに濠跡がみられるにすぎない。

「要図」は明治十六年に作られた「石母田村地籍図」の地割や、古老からの聴きにより復元したもので、北辺が八〇m・南辺六〇m・南北九〇mと、台形状をなしていた。

北西のすみの土壘幅は広くとられていて、物見の施設でも置かれていたとも考えられる。

館の北と西側の地割は山林で、地籍図からの濠、土壘幅は読みとれないが、南と東側の土壘幅からみて、六・〇m×八・〇m、高さは、最近まで残されていた西側の

土壘高からみて、二・四mほどであった。

濠幅は東と南側は広く二〇mに達するところもあり、北側と西側はせまく土橋によって水位の調整がなされていた。

濠水は西側を流れる、経済川から取水され、下流水水田のかんがい用水にあてられていた。

中世末期、天文二十一年(一五五三)に書かれた「伊達晴宗采地下賜録」によれば、当時の石母田郷は中央を流れる西沢川によって二分された、東部は石母田安房守光頼領、西部は大橋・平幡・嶺氏など小地頭の所領をはさんで、中津川大善・治部丞の所領が広がり、をみせていることから、西館は中津川大善の居館と考えられる、家譜によれば中津川氏は初め横尾と称した伊達家譜代の家臣で、後

出羽国長井庄中津川郷(現山形県西置賜郡飯豊町)に住して中津川と姓を改めた。

伊達氏の内紛天文の乱では大善が、種宗にいた一族の治部丞は宮の脇七百地(現経済地内)などを没収されて失脚した。

伊達政宗時代中津川大善は、蟻坂と改姓して、四〇〇石小姓頭として、政宗の側近に奉仕した。

晩年は濠の金奉行の要職にあったが、慶安二年藩藏から部下が金銀を盗取したため、その責をとわれ切腹、蟻坂家は家録を召し上げられたが、孫の孫左エ門の時ふたたび召抱えられ、明治維新に及んでいる。

中津川氏に関する詳しいことは直系の子孫である蟻坂仲明氏の夫人である花子安史の著書「河北の臣」蟻坂文書とその背景」を参照されたい。

館跡は最近まで旧家佐々木萬助家(当主英雄氏)の屋敷地であった。明治七年の「石母田村図」によれば、南側の堀が画かれているが、大正の初め東北本線の側溝工事の残りで埋立てられており、現在では館跡の景観は見られない。

参考文献 国見町史(一・二巻)中世・伊達世臣家譜、伊達正流世治考、伊達晴宗采地下賜録、伊達治家記録、中世の石母田とその地割について、菊池利雄氏の研究(二・四頁所収)

## 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

【相談員】

7月25日(土) 菅野 賛郎, 阿部 キク  
8月5日(水) 菊地 正治, 玉手マルヨ  
8月15日(土) 樋口 清三, 橋 ヤヨイ

## 今月のこよみ

7月 文月(ふみづき)	8月 葉月(はづき)
16日・東北本線開通(明26)	1日・水の日
18日・勤労青少年の日	3日・学制を發布(明5)
20日・土用・海の日記念日	7日・立秋
21日・小中学校夏休み(8月20日まで)	12日・堀江謙一、大平洋横断成功(昭37)
22日・土用の丑	15日・終戦記念日、月おくれ盆
23日・大暑	

◆イヴ・ブレイエル展  
○県美術博物館  
○七月十五(三十一日)二十日、二十七日は休館)

○イヴ・ブレイエルはフランス現代絵画の巨匠で、今回の展覧会は我が国で初めて開催されるものです。(油彩・水彩など一〇一点で構成されます)

町社会福祉協議会に  
●菊池洋一さん(ぼつとるくみ)から  
一万五、八五〇円  
小坂小学校に  
●小出秀雄さんから  
児童用図書(一万円相当)  
●秦 喜一郎さんから  
児童用図書(一万円相当)  
●新村国夫さんから  
旧校舍全景写真パネル  
●小坂スポーツ振興会野球部から  
サイドボード  
●斎藤唯一商店から  
サルビアの苗(二万円相当)

## 善意の窓





### 所得制限限度額が改正

#### — 児童手当 —

児童手当法の一部が改正され、児童手当所得制限限度額が左表のとおり引き下げられました。  
昭和56年6月1日から実施

#### 所得制限限度額表

扶養の親族等	改 正 前		昭 和 5 6 年 度	
	所 得	取 入	所 得	取 入
0	222.6万円	334.5万円	170万円	264.3万円
1	248.6	367.0	199	305.0
2	274.6	399.5	228	341.25
3	300.6	432.0	257	377.5
4	326.6	464.5	286	413.75
5	352.6	497.0	315	450.0
6	378.6	529.5	344	486.25
7	404.6	562.0	373	522.5
8	430.6	594.5	402	558.75

注 老人扶養親族があるときは、老人扶養親族一人につき六万円が所得ベースの限度額に加算される。

### 眼の不自由な方に お伝え下さい

点字図書、録音図書(カセットテープ)の利用について  
— とくに館外利用について —

福島県点字図書館では、視覚障害者のため、多くの図書を用意してあります。どうぞ多数の方が利用されることを望んでおります。  
※利用の方法

- ①利用希望者は手紙(点字)、または電話で点字図書館にお申込み下さい。
- ※くわしくは、県点字図書館におたずね下さい。

福島市森合町六一七  
☎〇二四五—三四一〇五二二

### 公職選挙法が改正

金のかからない選挙実現のため公職選挙法が改正され、五月十八日から施行されました。  
主な改正点は次のとおりです。

- 後援団体の政治活動のために使用する立札・看板等の制限
- ①後援団体の政治活動のために使用する事務所において掲示することができる立札・看板の類(たとえば、「〇〇後援会事務所」といった看板)の数は、従来の一後援団体についての制限から今回は、同候補者等にかかる後援団体の

すべてを通じて何枚と総量制限になりました。

- ②五月十八日以降は、立札・看板の類の掲示については、中央選挙管理委員会または所管の選挙管理委員会から新しい証票の交付を受けることが必要です。

●政治活動のための事務所等を表示するポスター(ステッカー)の制限

- ①次のようなポスター(ステッカー)は、選挙の期間中もそれ以外の時も掲示することはできません。
- (1)候補者等の事務所、連絡所を表示するためのもので候補者等の氏名等を書いたもの。
- (2)後援団体の事務所、連絡所を表示するためのもので後援団体の名称を書いたもの
- (3)後援団体の構成員であることを表示するためのもので後援団体の名称を書いたもの

②現在掲示されているこれらのポスター類はすみやかに撤去してください。

※くわしくは町の選挙管理委員会におたずねください。

### 警察官及び交通巡視員の募集

昭和五十七年四月に採用する警察官及び交通指導員を募集しています

- 【警察官(A) 一大学卒】
- ◇受験資格 昭和二十九年四月一日から三十五年四月一日までに生まれた男子で大学を卒業した者、または五十七年三月までに卒業見込みの者
- ◇受付期間 七月二十七日～八月八日
- ◇試験日 八月二十三日(日)
- 【警察官(B) 一高校卒業程度】
- ◇受験資格 昭和二十九年四月二日
- ◇受験日 十一月一日(日)

日から三十九年四月一日までに生まれた男子で大学卒または卒業見込みの者を除く

- ◇受付期間 十月五日～十月十七日
- ◇試験日 十一月一日
- 【交通巡視員 高校卒業程度】
- ◇受験資格 昭和三十三年四月一日から三十九年四月一日までに生まれた女子で学歴は問わない
- ◇受付期間 十月五日～十月七日
- ◇試験日 十一月一日(日)

### 昭和五十七年度高卒課程訓練生募集

県立郡山職業訓練校では昭和57年度の訓練生募集を左記によりおこないます。

- ◎教育目標 郡山職業訓練校は高卒者に対して、企業の中堅幹部技術者に耐える人材の養成として高度な技術修得と職業ライセンスの取得を重点に教育訓練をしている。
- ◎応募資格 昭和57年3月高校卒業予定者または22歳までの高校卒業生
- ◎受付期間 昭和56年10月1日～10月19日
- ◎入校試験

- ◎科目、定員 電気工事科30名  
機械科30名  
自動車整備科30名  
建築製図科30名
- ◎取得できる主なる職業ライセンス 宅地建物取引主任者、電気工事士、高圧電気工事技術者、二級ボイラー技術士、二級(第四類)危険物取扱者、二級技能士、三級自動車整備士、消防設備士甲種、乙種、三級商業簿記

※応募手続の詳細は郡山市上野山五、郡山職業訓練校へ  
☎〇二四九(四四)一六六三

### 身体障害者巡回相談会

●補装具相談会  
日時 七月二十三日(木)  
九時三十分～十四時まで  
場所 保原町中央公民館



### 猟銃等の所持許可更新を受ける方へ

#### ― 猟銃等経験者講習会の実施 ―

従来、講習修了証明書の有効期間が無制限であったものが三年とされました。したがって三年毎に受ける更新時には常に有効な講習修了証明書が必要となります。昭和五十六年九月一日以降更新する方は、次より必ず講習会に出席し受講してください。

一、講習会開催の日時、場所  
昭和五十六年七月二十四日(金)午後一時三十分

桑折警察署、会議室

二、受講対象者

- (1)現に法第四十一条第一号の規定による許可を受けて猟銃等を所持している方
- (2)所持許可の更新を受けようとする方、または買い替え等で

桑折地区銃砲火薬類保存協会

新たに猟銃等の許可等を受けようとする方

(3)既に交付を受けている講習修了証明書が交付を受けた日から起算して三年を経過している方

三、講習受講申込み

(1)猟銃等講習受講申込書 二通

(用紙は警察署にあります)

(2)写真 二枚(縦三・六センチメートル、横二・四センチメートル)

(3)手数料 一、五〇〇円(福島県収入証紙)

(4)受講申込みは講習会の期日の五日前までに提出してください。

桑折警察署

## 戸籍の窓口

(6月受付分)

### 出生おめでとうございます

子の名	保護者	部落
友恵	菊地文雄	源宗山北
洋	大塚和男	石母田西
奈美子	光野孝由	源宗山東
康博	松浦修勉	源宗山西
浩	四家勉	源宗山東
あゆみ	佐藤勝雄	源宗東坂
里美	後藤義一	宮町上
幸	神林俊広	小泉田取
裕美	林勇治	鳥山崎小館
康夫	高橋勇正	山崎小館
謙一	菅野正一	内谷西

### ご結婚おめでとうございます

氏名	部落(前住所)
緑上雄二	源宗山西
岩城千恵	川内城市
渡辺善之	高城市
渡辺智子	福島市

### おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部落
徳江久右衛門	80	石母田西

## わだいのモリアオガエルのコーラス

ことしも国見町営牧場の牛のたまり場に、たくさんモリアオガエルが産卵しています。かじがガエルに似た独特の澄んだ鳴き声は、梅雨空の下にたむろする牛の群とよくなじみ、牧草手入の人たちを楽ませてくれます。

万山これつつじという節は過ぎたが、濃い緑の山はだにひときわめだつ。真白な山ボウシの花と対称的な牧草の中に生みつけられた卵塊は、まもなく暑い日ざしのなかに、百合の花が咲き競う頃、一斉にオタマジャクシにかえることでしょう。保護したいものです。



モリアオガエル(♀)



生みつけられた卵塊

### 人口と世帯

11	7.1現在(前月比)	6月中のうごき
人口	男 5,863人 (-7)	転入 7
	女 6,220人 (-4)	転出 28
	計 12,083人 (-11)	出生 11
世帯数	2,818戸 (±0)	死亡 1

〇霧雨にけむる山並に、たなびく雲が、うすく濃淡をあらわしめるで一幅の墨絵をみるような毎日である。なんとなく部屋の中も暗く感じられるとき、仕事の合間に外を見たら、役場の生垣に植えられたネズミモチの純白の花が、いつのまにか満開を競っている。みわたれた風景ではあるが、なぜかほっとする。それは今月の編集が無事終ったせいばかりではない。私たちはもつと自然をみつめ、より親しみたいものと思う。

〇毎日うつつという梅雨空が続いていると、い、かげんに晴れてくれないかなあ」と思うのだがこればかりは人の力ではどうにもならない。朝の出がけに、丹念に手入れされた松の枝先に、真白い絵図をかけた松の葉を見た。それはしつとりと露を含んで、真珠のビーズさながらにたわんでいた。自然の造形とはいわゆるもの実に見事だなあと感じ入る。

編  
集  
日  
記





さあ スタート開始

第二回国見町桑折町マラソン大会が六月二十八日(日)に行われました。両町民が体力づくりと親睦をはかる目的で毎年開いているもので、今年も、国見町公民館前から桑折を結ぶ旧国道、各種目ごと折返しコースで熱戦が展開されました。午前十時より男子の部、十一時女子の部のスタート、成績は次のとおり

▽中学生男子の部四キロ①佐久間光雄(県北) 13分34秒②高野輝男(県北) ③佐藤昭保(県北)▽中学生女子の部二キロ①後藤裕美子(県北) 8分25秒②齋藤佳代子(県北) ③高橋祥子(釧路)▽一般男子二十五歳以下五キロ①佐藤正明(桑折) 19分13秒②草野隆(桑折) ③二瓶学(桑折)▽同三十五歳以下四キロ①佐藤賢次(桑折) 14分38秒②佐久間秀男(国見)③本望裕一(桑折)▽同四十五歳以下三キロ①本間正雄(桑折) 11分13秒②片戸正(桑折) ③青木功(国見)▽同四十六歳以上二キロ①本望高治(桑折) 7分55秒②佐藤健雄(桑折)▽一般女子の部二十五歳以下三キロ①菅野文子(桑折) 12分34秒②大橋美喜子(桑折)③佐藤あきみ(桑折)▽エリート男子六キロ①石幡保雄(桑折) 21分20秒②高橋徹(桑折)▽同女子六キロ①安藤まゆみ(桑折) 29分2秒



国見町公民館  
電話 公26776  
和4156

# マラソン大会開く

## 婦人学級

### 合同研修旅行



岩手山と歌碑をバックに

六月二十六日(金) 朝六時国見インテリから学級生四十五名を乗せたバス、盛岡に向って出発、気持ちよい青空、岩手山が美しい姿を見せ私達を迎えてくれた。啄木記念館、鶴塚の啄木歌碑、「やはらかに柳あをめる北上の 岸邊 目に見ゆ 泣けとこくに」を背にパチリ。小岩井農場での昼食、牛乳もおいしい。もう満腹、午後は盛岡市の石剱桜をバスの中から見、市の公民館の中にある郷土史料館、岩鑄の鉄器工場見学、実り多い研修旅行を何事もなく、帰宅、お疲れさまでした。

## 文化団体紹介

### 日本画クラブ

日本画クラブは、昭和五十一年に発足、先に、町民学校が開かれ、後受講生の話し合いによりクラブ結成となりました。以来毎年五月五日子どもの日に習作展を開き、文化祭にも意欲的に参加し町民の皆さんに好評をいただいております。講師は町内在住の石原晃雲先生です。初心者も経験者も先生のよい指導を受け学習に励んでおります。お互いの融和を広げ、親睦を図り、明るい社会に生きる喜びとなることと思います。学習日は、毎月二回、第二と第四の木曜日と

### 明治学級、旅の駄目

水着き長老見下すバスの窓  
雪解けの水嵩広き不動滝  
新しきホテル離れ青根の湯  
町中の老い集りて一日旅  
おしゃべりは  
ガイドに任せ舟を漕ぐ  
(森山第四 落第居士)  
齋藤義吉さん

## あつがし俳句会

- \*療養の身をかき立て、行々々
  - \*蜘蛛の糸風にゆられ居て雲遠し
  - \*紹の衣今日の御着苦くなり
  - \*神棚の神も替えて更衣
  - \*鉄線を鉢に替かせて巡査留守
  - \*親竹の青より青き今年竹
  - \*魔寺を守る鏡とせ古麗
  - \*栗子山白き花在り梅雨けぶる
  - \*可憐とはじがたら薫の花の色
  - \*灯の点る教室のあり梅雨しど
  - \*梅干やこころに亡き母まだ居ます
- 斎藤黄鶴楼  
藤田 勝衛  
加藤 痴仏  
佐久間山月  
奥山 雨田  
阿部 亨司  
佐藤 国風  
高橋 涌水  
赤間はる子  
高橋 仙子  
森田 栄子

発行・編集 国見町公民館 福島県伊達郡国見町大字藤田字丁田2ノ1  
電話 九九一七番藤田(〇二四五八五二二二一)代